



胎児の細胞株は胎児細胞や胎児組織とは異なります。胎児細胞や胎児組織は胎児から直接採取されるものであり、胎児の細胞株は胎児に由来する細胞を実験室で培養したものです。アメリカで使用可能な COVID-19 ワクチンには、胎児細胞や胎児組織は一切含まれていません。

胎児の細胞株は以下のような理由から一部のワクチンの開発および/または製造するにあたり使用されています：

1. ウイルスは増殖するために細胞を必要とし、通常ヒトに感染するウイルスは、動物の細胞よりも人間の細胞の中で増殖しやすいとされているため。
2. 胎児の細胞株は他の種類のものよりも長期間使用できるため。
3. 胎児の細胞株は低温で保存できるので、科学者たちが数十年前の細胞株を使い続けることができるため。

胎児の細胞株はアメリカで使用されている一部の COVID-19 ワクチンの開発、試験または/および製造の様々な段階で使用されました。

- Pfizer と Moderna の COVID-19 ワクチン: ヒトにワクチンを試す前に胎児の細胞株が実験室試験で使用されました。
- Johnson & Johnson の COVID-19 ワクチン: ワクチンの開発、製造、試験のために胎児の細胞株が使用されました。
- Novavax の COVID-19 ワクチン: ワクチンの開発、製造、試験のために胎児の細胞株は使用されていません。

COVID-19 に使用された胎児の細胞株は 1973 年と 1985 年に中絶された二人の胎児から採取された細胞が元になっています。中絶はワクチンの製造を目的として行われたわけではありません。そして、この目的のために更なる中絶の実行や、その他の胎児細胞の供給源の使用はされていません。

[カトリック教会](#)は胎児の細胞株の使用について見直した後、「研究と製造の過程で中絶された胎児由来の細胞株を使用した COVID-19 ワクチン接種を受けることは道徳的に受け入れられる」と発表しました。

プロライフ団体（胎児の生命を尊重する中絶反対派）、[シャーロット・ロジエ研究所](#)は Pfizer、Moderna や Novavax のワクチンは理論的に議論の余地はないものと判断しています。

この問題について懸念のある方は信仰指導者や生命倫理の専門家にご相談することをお勧めします。ワクチン接種についてよく理解した上で決断するサポートをしてくれるはずです。